

平成28年5月15日
今週のベストショット



青松園A 奈多クラブ 対 奈多フェニックス戦
五回裏、奈多フェニックス実延彰洋選手の同点HRを迎える選手達

写真：奈多サンデーズ 宮口和己

奈多グラウンド ライナーズ先発全員安打！大量12得点！

雁ノ巣ライナーズ（2勝）350013 12 有馬○ー山崎

レッドサンデーズ（2敗）005000 5 塚本●ー荒口

HR：明瀬航、久保田（雁ノ巣） 2BH：中口、宇野、久保田、永吉、鳥越（雁ノ巣）八島（レッド）

雁ノ巣ライナーズは初回二死から四番宇野選手の適時二塁打など4安打とWPで3点を先制し、二回にも久保田選手、野口選手の二塁打など6安打でさらに5点を追加し試合開始直後からレッドサンデーズに8点の差をつけた。一方のレッドは二回までライナーズ先発有馬投手に一塁も踏ませてもらうことができない。しかし三回のライナーズの攻撃をこの試合初めて三者凡退で抑えると、その裏一死から折居選手のヒット、八島選手の二塁打、前田選手のヒット、二死となるもWPや土師選手のヒットなどで一気に5点を返す！するとレッド先発の塚本投手が四回もライナーズ打線に得点を許さず流れはレッドに来たかと思われた五回表、ライナーズ鳥越選手にタイムリーヒットを打たれ1点を取られてしまう。その裏、レッドは相手投手の連続四球でランナーを置きチャンスを作るが得点に繋げることができない。9-5で迎えた六回表、ライナーズ先頭の明瀬航選手の左中間ソロHRで追加すると、この試合ここまで2安打の久保田選手が右中間スタンドへ2ランと一発攻勢で3点を追加し、12点目。一気に離されてしまったレッドはその裏、川原陸選手のヒットなどでランナーを出すもののあと1本が出ずゲームセット。ライナーズはこの試合先発全員安打を記録し、大量12得点。一方レッドも三回に5点を取るも、その後は得点できずこの試合を落としてしまった。（記事・写真：三苦三球会 船橋史哉）



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



ライナーズ先発の有馬投手。



レッド前田右翼手の好返球でホームタッチアウト。



六回裏、レッドのリードオフマン川原陸選手のヒット。



この試合バットで大暴れのライナーズ五番久保田選手。



サードゴロを華麗にさばくレッド八島三塁手。



強烈な二塁打を放ったレッド四番八島選手。



代打で送りバントを決めたレッド田村選手。



六回表、HRを放ちベンチに迎えらる明瀬航選手。



ショートとの間のフライを声を出してキャッチするレフト折居選手。



ライナーズの岩崎監督とHRを放った久保田選手と明瀬航選手。

青松園A 実力拮抗の両チームは決着つかずドロー。

奈多クラブ (2勝1分) 200040 6 今林(瑠) - 安河内

奈多フェニックス (1勝1分) 400110 6 今林(勇) - 実延

HR: 実延彰 (奈多フ) 2BH: 今林勇 (奈多ク) 盗塁: 今林勇 (奈多ク)

好試合が予想された両チームの戦いは、立ち上がり奈多フェニックス今林(勇)投手が、奈多クラブの一番今林(裕)選手をストレートの四球でランナーに出すも、二番今林(瑠)の送りバントを好フィールドイングで二塁アウトに取りチャンスは芽を摘んだかに思えた。しかし二死一塁になったところで四・五番の連打で奈多クラブが2点を先制。早めに追いつきたいフェニックスは、一番西藤選手が同じく四球で出塁、二番も内野安打で続き三番安藤選手がライトへタイムリーを放ち1点を返す。一死満塁になったところで六番実延(彰)選手が押し出し死球で同点。七番高原選手のセカンドゴロの間に3点目。続く八番今林(心)選手のライトフライをまさかの落球で4点目。二回以降は両チーム0行進が続く。しかし四回裏、フェニックス三番安藤選手がこの日2本目のタイムリーで突き放す。五回表奈多クラブは、下位打線でチャンスを作ると一番今林(裕)選手の内野安打タイムリーと二番今林(瑠)選手の2点タイムリーで同点。さらに四番馬場口選手のサードゴロの間にランナーが生還し逆転する。その裏食らいつくフェニックスは、六番実延(彰)選手のサード線を抜ける値千金のソロHRで同点とする。その後は両投手が抑え6-6の同点で試合終了。両チームとも一步も譲らない展開でナイスゲームでした。

(記事: 奈多サンデーズ 江口宏之、写真: 宮口和己)



奈多フェニックス先発の今林勇太投手。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



一回表、今林瑠生選手の送りバントは失敗に終わるも・・・



悪送球の間に奈多クラブ初回到に2点目のホームイン。



一回裏ホームに疾走する奈多フェニックス西藤選手。



奈多フェニックス実延(彰)選手の体を張った死球で同点。



五回表、奈多クラブ今林(瑠)選手の2点タイムリーで同点。



五回裏、同点HRの実延(彰)選手を迎えるフェニックスベンチ。



悔しい奈多クラブバッテリー。



痺れる試合終了後ガッチリと握手をする両チーム監督。

青松園B 三苦ホーネッツ快勝！

三苦ホーネッツ (2勝) 4 6 6 6 3 2 5 矢野○、井手ー広木

ブルーマーリンズ (2敗) 0 0 0 0 3 3 佐藤●ー横山 (健)

HR : 三浦、正内、広木 (三苦ホ) 2 HB : 中角、今田 (三苦ホ) 佐藤 (ブルー)

盗塁 : 今田、塚 (恭)、井手 (三苦ホ)

初回、三苦ホーネッツは相手四球、失策、安打を重ね、いきなり4点を先取。二回には六番三浦選手の2点本塁打も加わり一挙に6点を追加。すでに10点をマークすると、危なげなく毎回得点を重ねる。三回裏には、ホーネッツの矢野投手が完全試合を期待させるピッチングで好投を続けるが、四回裏、ブルーマーリンズ一番三上選手も負けない気持ちが勝るのか？内野安打で意地を見せる。それでも五回表のホーネッツは得点を重ね、王者の貫禄を見せつけていた。しかし、最終回に親子対決的一幕も！ホーネッツ中村監督が場面を盛り上げ、マーリンズ井手選手の打席に父・井手投手を投入！息子井手選手の必死なプレイで相手失策を誘い、この回意地の3点を奪う。終わってみれば15安打25得点の圧勝で強さを再確認させられた三苦ホーネッツ。ただ、ブルーマーリンズもサウスポーの佐藤投手もなかなかの投球を見せ、今後に大きな期待を感じさせた。楽しみである。

(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



ブルーマーリンズ先発の佐藤投手。



完全試合も予感させた投球のホーネッツ矢野投手。



一回表、本日初安打のホーネットス六番三浦選手。



一回表、必至にプレイするBマーリンズ浜崎一塁手。



軽やかに守備をこなすホーネットス堺恭祐選手。



ホーネットス井手選手の強烈なライトゴロをアウトにするBマーリンズ井手選手（親子対決、息子に軍配）



三回表、2ランで突き放すホーネットス正内選手。



三回表、走者一掃の二塁打を放つ中角選手。



井手親子対決、第2弾。



2安打で意地を見せたBマーリンズ一番三上選手。

第4週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第4週、5月15日は三苦地区の壮年ソフトのため3試合が行われました。

奈多グラウンドの雁ノ巣ライナーズ対レッドサンデーズ戦は、二回で8点差をつけたライナーズに対し、レッドも一挙に5点を返し意地を見せたが、終盤明瀬航、久保田選手の2本のHRでレッド塚本投手を完全に打ち崩したライナーズが12-5で勝利。打力ではリーグトップクラスのライナーズがその力を如何なく発揮した一戦だった。試合後明瀬兄弟が二人で居残りティーバッティングをしている姿に今季にかける思いを感じた。

青松園Aの奈多クラブ対奈多フェニックス戦は、一昨年は逆転サヨナラで奈多クラブが勝利し、昨年は3-3で引き分けた両チームの意地と意地のぶつかり合いが見られた。取っては取り返す攻防は、五回が最大の盛り上がりを見せた。4安打を集め一挙4点を取って逆転した奈多クラブに対して、フェニックス六番実延彰洋選手の同点ソロ。最終回は両投手が三者凡退に抑え、2年連続のドロー。

青松園Bの三苦ホーネッツ対ブルーマーリンズ戦は、ブルーマーリンズ先発左腕の佐藤選手の立ち上がりから攻め立てた昨年覇者ホーネッツが格の違いを見せつけた。15安打3HRで25得点。最終回矢野投手をリリーフした井手投手から意地を見せ3点を挙げたブルーマーリンズだが、戦局を覆すにはいたらずゲームセット。15選手が出場したホーネッツの層の厚さからしても今年の優勝最有力候補なのは間違いないだろう。

試合後三苦校区の壮年ソフトを少し覗きに行ったが、普段は敵チームであったり、和白リーグでは見ない方々も皆さん楽しそうにソフトボールに興じていました。こういう地域との密着性が得られるのもスポーツの素晴らしさだと思います。

その後の飲みニケーションも楽しみの一つですね。